

“こども”の患者さん向け

メトホルミン 塩酸塩錠 250mgMT「TE」
500mgMT「TE」

をのむときに注意すること

—このおくすりは、血糖値を下げるおくすりです。—

のむときに気をつけること

- お医者さんや薬剤師さんから言われたとおりにのんでください。
- のみわすれた場合は、1回とばして次の時間から1回分をのんでください。
絶対に2回分を一度にのんではいけません。

のんだあとに注意すること

- “乳酸アシドーシス”をおこさないようにするために。**
 - ・熱があるとき、下痢(げり)や嘔吐(おうと)があるとき、食欲がなく食べられないときには、このおくすりを、のむのをいったんやめてお医者さんまたは薬剤師さんに相談しましょう。
 - ・水分は日頃から十分に取るようにしましょう。

【保護者の方へ】

- ・まれに、乳酸アシドーシスという治療が必要な副作用を起こすことがあります。
- ・吐き気・嘔吐、腹痛・下痢、筋肉痛、呼吸が苦しいなどの症状がひどいときまたは続くようなときは、すぐに医師にみてもらうようにしてください。
- ・脱水により乳酸アシドーシスを起こすことがあるので、脱水が起きないように注意してください。発熱、下痢、嘔吐、食欲がなく食事ができない場合や、利尿作用を有する薬剤をいっしょにのむときには脱水を起こすことがあります。脱水症状があらわれた場合には、一旦のむのをやめて、医師または薬剤師に相談してください。
- ・次のときには、メトホルミン塩酸塩錠MT「TE」をのんでいることを医師または薬剤師に伝えてください。
 - ・手術を受けるとき
 - ・他の医師から何か薬を処方してもらうときや、薬局などで他の薬を購入するとき
 - ・新たな検査(ヨード造影剤を使用する検査など)や治療を受けるとき

のんだあとに注意すること

● “低血糖”にならないように気をつけましょう。

- ・血糖値が低くなりすぎると、急に強い空腹感、力の抜けた感じ、冷や汗、手足のふるえ、頭痛やふらついたりする低血糖症状が起きることがあります。その場合は、すぐにその場で砂糖やブドウ糖を取りましょう。ふだんから持ち歩き、がまんしてはいけません。
- ・砂糖とブドウ糖のどちらをとるのが良いかはお医者さんや薬剤師さんにききましょう。
- ・高いところや不安定なところにいるとき、自転車に乗っているときに低血糖症状を起こすと事故につながる危険性があります。特に注意してください。

【保護者の方へ】

- ・お子さんに、上記のような症状がみられたり、「ぼんやりしている、うとうとしている、ろれつが回らない」など、いつもと違ったような様子に気づいたときには、砂糖やブドウ糖をとらせてください。
- ・アカルボース、ボグリボース、ミグリトールと呼ばれる薬をのんでいる場合には、砂糖ではなくブドウ糖をとる必要がありますので、あらかじめ医師や薬剤師に確認してください。
- ・砂糖やブドウ糖をとってもよくなるいときや「けいれんをおこす、意識がなくなる」などの場合には、すぐに医師にみてもらうようにしてください。

製剤写真(実物大)

250mg錠



500mg錠



いつもと違うと感じたらお医者さんまたは薬剤師さんに相談してください。

連絡先等